

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 001	提案機関名 神奈川県 農政課
要望問題名 かながわらしいスマート農業技術の導入に向けた、経済性（費用対効果）の検証	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 本県の生産性の向上とともに持続性の高い農水産業の実現を図るため、都市近郊に適したスマート技術の導入を推進する、「かながわスマート農業・水産業推進プログラム」を令和4年3月に策定した。 農業（耕種）分野において、スマート農業技術の多くは、イニシャルコストとランニングコストがかかるため、導入に向けては、経済性を検証する必要がある。 国は「スマート農業実証プロジェクト」等で費用対効果の検証を実施しているが、かながわらしいスマート農業技術については、情報は少なく、検証はほとんど行われていない。 そのため、本県で導入される見込みのある技術（アシストスーツ、草刈りロボット（自律型）、委託ドローン（農薬散布、センシング）、生産・経営管理システム等）に対し、省力化や生産性向上の観点からも検討をお願いしたい。	
解決希望年限	<input type="radio"/> ①1年以内 <input checked="" type="radio"/> ②2～3年以内 <input type="radio"/> ③4～5年以内 <input type="radio"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	企画経営部、生産技術部
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 多機能ロボット等による省力化・軽労化技術の開発		
対応の内容等	全国的に生産性向上および持続性の観点からスマート農業の導入が進められる中、本県においてもその導入は必要不可欠と考えています。また、導入にあたっては、本県の農業生産現場の環境や規模に対応していることが前提となりますので、今後の導入が見込まれる草取りロボットやセンシング技術については、省力化や生産性向上の観点から、上記試験研究課題の中で経済性の検討も含めて実施します。		
解決予定年限	<input type="radio"/> ①1年以内 <input type="radio"/> ②2～3年以内 <input checked="" type="radio"/> ③4～5年以内 <input type="radio"/> ④5～10年以内		
備考			